

☆本気、出しました!!



♪ハイセンスな化粧箱付きで贈り物にも好適!!

高知県酒造業界の東の横綱といえ『土佐鶴(とさづる)』。

県東部安田町の太平洋を望む海辺の酒蔵です。

今まであまり純米酒は多くない印象だった同蔵が、ついに『満を持して』放った新商品がこれ。

その名も『銘鶴(めいかく)』。

私、風猫子も試飲してみたが、香りに頼らなくても切れの冴える透明感のある飲み口。これならこってり系の肉料理などにもよく合い、負けずに味を支えてくれそうです。

常温と冷蔵庫で冷やしてで飲み比べたところ、冷やした方が逆により香りが立つような不思議な感覚も体験しました。

この本気度、県下の他の酒蔵もうかうかしてられないゾ!!

生産量が多くないので、お土産店と業務(飲食)店のみにはしか卸していない限定品だそう。

鶴がついに翔いた!!

ショップ風良里で

大好評販売中。

猫のしっぽ 今日から 11 月、今年も本当にあと 2 か月となりました。いつものことながら、全く実感もないまま歳末に向かってウォータースライダーに乗るように巻き込まれてゆきそうです。

忙しい月初を前に、先月末何と私風猫子の業務用 PC 黒猫 I 号がクラッシュ。こんな時に何で、、、と思いつつ、パソコン大目付の某オフィスに泣きつき、ファイルのバックアップ等のご支援をいただきました。只今入院中で、会社の他の PC で業務を分掌しているが中々大変。この週刊風良里もショップのを借りて作ってます。来週中には戻しますからね。さて、趣味の本屋巡りをしていて、極偶にこれはすごいと思う本に出会うことがあります。先日某書店でひっそりとあった『純米酒を極める』上原浩 著はそんな一冊。何が良いかと言って、論旨明快、何がどうしてどうなる(った)というのがきちんと書いてあり、どこを取って読んでも面白い。本文(上記)でも取り上げた純米酒に関する愛情あふれる著書で、700 円(税込)!! も信じられない。光文社知恵の森文庫だよ。風猫子